

# リンゴ苗木・穂木等を導入する際は、 黒星病の感染に十分注意してください！

- 県内で、リンゴ黒星病のDMI剤耐性菌が確認されました。この耐性菌は、基幹防除薬剤であるDMI剤が効かないもので、まん延すると、甚大な被害を及ぼす恐れがあります。耐性菌は県外から導入された苗木を植え付けたほ場での発生が多いことから、県外から苗木・穂木等を購入する場合は、黒星病などに感染していない健全な苗木であることを苗木業者に確認してください。

## リンゴ黒星病について

リンゴ黒星病が発病すると、葉・果実・葉柄に斑点を生じ、リンゴの収量・品質が大きく低下します。



## 【りんご園地の発生状況確認】

リンゴ黒星病は、5～6月及び9～10月に多発する傾向にあります。定期的な防除を10月頃まで続けるとともに、園地巡回を徹底して発生の有無を確認してください。

特に昨年秋以降に県外の苗木を定植した又は穂木を高接ぎした園地や周辺ほ場については、重点的に確認してください。

⇒発生を確認した場合には、農業改良普及センターへご連絡ください！

# 定期的な防除と巡回により、黒星病発生の未然防止及び早期発見に努めてください！

- 耐性菌は、「リンゴ黒星病」の防除に使用していたDMI剤やQol剤の薬効が期待できないため、別の薬剤に代替する必要があります。（青森県ではDMI剤耐性菌がQol剤にも耐性がある。）
- 秋期に雨が多いと、黒星病の発生が増加しますので、気象状況を考慮しながら、10月上旬頃まで薬剤防除を行う必要があります。

## 【リンゴ黒星病防除へ使用しない殺菌剤】

### 【DMI剤】

- ・アンビルフロアブル
- ・インダーフロアブル
- ・オンリーワンフロアブル
- ・スコア顆粒水和剤
- ・ブローダ水和剤
- ・マネージM水和剤 など

## 【リンゴ黒星病防除へ単剤での使用を控える殺菌剤】

### 【Qol剤】（保護殺菌剤を加用して使用する。）

- ・スクレアフロアブル
- ・ストロビードライフロアブル
- ・フリントフロアブル
- ・ファンタジスタ顆粒水和剤 など

上記の薬剤を使用する予定の方は、薬剤を変更又は加用する必要があります。  
薬剤の選択に当たっては、JA又は普及センターへご相談ください！

## 【発病苗の抜根及び発病葉・発病果の摘み取り】

県外から導入した苗で、発病が多い場合又は適切な防除をしても発病が止まらない場合は、抜根してください。また、発病が軽微なものは、発病葉や発病果を残さず摘み取ってください。いずれの場合も、袋に入れて、ほ場外に持ち出し、焼却又は埋却処分してください。

・株元に落ちた被害落葉についても拾い集めるなど、ほ場内に感染源を残さず、適切に処分してください。

★疑わしい症状が確認されたら、お近くの農業改良普及センターへ御相談ください。

- 佐久農業改良普及センター TEL:0267-63-3167
- 上田農業改良普及センター TEL:0268-25-7157
- 諏訪農業改良普及センター TEL:0266-57-2932
- 上伊那農業改良普及センター TEL:0265-76-6841
- 南信州農業改良普及センター TEL:0265-53-0436
- 木曾農業改良普及センター TEL:0264-25-2230
- 松本農業改良普及センター TEL:0263-40-1945
- 北アルプス農業改良普及センター TEL:0261-23-6544
- 長野農業改良普及センター TEL:026-234-9536
- 北信農業改良普及センター TEL:0269-23-0221